



地域密着型介護福祉施設 越路さくら

# さくらだより

令和3年1月号 (第29号)

発行/地域密着型特別養護老人ホーム越路さくら  
越路さくら認知症対応型デイサービスセンター  
越路さくら在宅介護支援センター  
発行責任者/施設長 中 伸之  
黒部市荻生7120番2 ☎ (0765) 32-4811  
ファックス (0765) 32-5612  
発行日/令和3年1月1日  
ホームページ <http://koshijisakura.e-294.net/>



## 地域密着型特別養護老人ホーム越路さくら

### 令和3年 年頭挨拶

理事長 松原宗一

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は社会福祉法人緑寿会の各事業に格別のご愛顧、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

緑寿会は、昭和61年7月の設立以来、皆様の支えがあって、今日まで地域の高齢者福祉施設として、介護サービスを提供させて頂いてきました。役員、職員一同、深く感謝いたします。

さて、昨年は新型コロナウイルスの影響で平穏な日常の暮らしが、大きく失われた年でした。特に、特別養護老人ホームのような高齢者施設で生活されている基礎疾患のある方や抵抗力の弱い方々にとっては、感染する

と重篤化するなど、大きな脅威となっています。

ご家族の皆様には、感染防止のため、止む無く面会を中止にいたしました。ご理解、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。入所者とのふれあい、交流がご家族にとってどれだけ貴重なことか計り知れません。また、職員には感染を持ち込まないよう不要不急の外出、3密を避ける行動、旅行や会食、カラオケ等の自粛の徹底を要請しています。大変なストレスをかけていますが、エッセンシャルワーカーとしての自覚とご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

現在、緑寿会では、長期的な視点に立って、今後5年間の中期事業計画を策定しています。経営基盤を強化し、選ばれる施設、地域とともに歩む施設を目指すとともに、地域の様々な課題となっている一人暮らし、老老介護の見守りや虐待防止など、介護だけの領域に留まることなく、地域の皆さんとともに解決に向けて取り組んでいきます。

「敬・愛・信」を緑寿会の心とし、また、「地域社会への貢献、人権尊重の介護、職員の能力と人格の向上」を経営理念とし、役員、職員一同、地域の介護福祉の充実のため取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の終息を願い、日常を取り戻し、本年が皆様にとりまして笑顔のあふれる年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



## ・・・防災訓練・・・



安全に気を付けながら防災訓練を行いました。



## ・・・クリスマス会・・・



12月25日はクリスマスの雰囲気を感じながら皆さんでケーキを食べました。

### 11月・12月・1月の誕生者

- |     |   |    |      |       |                |
|-----|---|----|------|-------|----------------|
| 11月 | ： | 紙屋 | シガさん | (97歳) |                |
| 12月 | ： | 平野 | 正一さん | (96歳) | 齋田 セツ子さん (88歳) |
| 1月  | ： | 村井 | 雪子さん | (83歳) | 富山 富子さん (88歳)  |
|     |   | 能澤 | 祐一さん | (86歳) |                |

お悔やみ申し上げます  
10月15日 荻野 小波さん

寄付・寄贈ありがとうございました  
松木 隆子





# 越路さくら認知症対応型デイサービスセンター



## お茶会



10月は皆さんでお茶をたて、ささやかですがお茶会を楽しみました。最初は「私、出来ないわ～」と不安そうにしていたのですが、いざお茶を目の前にすると自然と手が動いておられました。生菓子と一緒に美味しくいただきました。



## 運動会



毎年恒例の運動会ですが、今年は例年以上に体調の確認や換気に気を付けつつ、全員はちまきの代わりに色別のマスクを着用し競技を行いました。チーム対抗でしたが優勝したチームはくす玉を割り、喜んでおられました。



## 作品作り



11月はクリスマスツリー作りを行いました。フェルトで作った飾りやスパンコールを貼り付け、白い毛糸を雪に見立てて飾り付けをしました。

# 🍪🍩🍰🍮🍡🍢🍣🍤🍥🍦🍧🍨🍩🍪🍫🍬🍭🍮🍯🍰🍱🍲🍳🍴🍵🍶🍷🍸🍹🍺🍻🍼🍽🍾🍿🥞🥟🥠🥡🥢🥣🥤🥥🥦🥧🥨🥩🥪🥫🥬🥭🥮🥯🥰🥱🥲🥳🥴🥵🥶🥷🥸🥹🥺🥻🥼🥽🥾🥿🦷🦴🦵🦶🦷🦴🦵🦶



毎月、おやつ作りを行っています。10月には秋の味覚、さつまいもを使ったスイートポテト、11月はホットケーキミックスに豆腐を入れたフワフワパンケーキ、12月は白玉粉を使用した白玉大福を作りました。どれも大好評でした！

## 越路さくら在宅介護支援センター

新たな年がスタートしましたね。今年もよろしくお願いいたします。

今回は、認知症の方を介護しているご家族の方へ、介護に携わるご家族がたどると言われている心理的ステップを紹介します。事前に知っておくことで、気持ちに余裕が持てるようになるのではないのでしょうか。

ステップ1：おかしい行動に気づき始め、驚き、戸惑う。介護者自身も、その行動が病気からくるものだという事を納得できないでいる。

ステップ2：認知症の症状に振り回され、精神的、肉体的に疲れてくる。「自分だけがなぜ…」「こんなに頑張ってるのに…」と介護者が被害意識を持ってしまう。

ステップ3：なる様にしかならない、と開き直る。怒ったり、イライラしても仕方がないと気づく。何とか折り合いをつけられるようになり、介護者のペースでできるようになる。

ステップ4：認知症の人の世界を認めることができ、相手の気持ちを深く理解しようとする。

家族の介護は、家族だからこそ割り切れないことも多く、ストレスが溜まりがちです。日ごろから介護について話しできる人や場所を見つけておくといいですよ。私たちケアマネも、介護トークのお手伝いをさせていただきます。「こんな相談していいの？」と思う内容でも、まずは気軽に相談を！いつでもお待ちしております。

## 越路さくら在宅介護支援センター

電話 0765-32-5138

担当：長谷川、上田、能登、中瀬、高野

